

20～40 代の恋愛と結婚

- 第 8 回結婚・出産に関する調査より -

株式会社明治安田生活福祉研究所（社長 前田茂博）は、2014 年 3 月に、全国の 20 歳～49 歳の男女 3,616 人を対象に、「結婚」をテーマとする調査を実施しました。

本リリースでは、恋愛や婚活の実態、結婚に対する考え方、結婚生活の実態などについて、調査で明らかになった最新の状況をご紹介します。

< 主 な 内 容 >

○理想の結婚相手 有名人では？ 里田まい さん つるの剛士 さん (6ページ)	○未婚女性が結婚相手に求める年収と男性年収に開き ◇年収 400 万円以上希望の 30 代未婚女性 65.5% ◇30 代未婚男性の年収 400 万円以上 26.7% (8ページ)	○結婚相手の条件 「価値観が合う」 「優しい」 「行動力・決断力」 「浮気をしない」 「年収・経済力」 (9ページ)
○20 代男性の 70% 20 代女性の 86% が「結婚したい」 (10 ページ)	○恋人がいる 20 代 男性2割 女性4割 ○20 代未婚男性の 4割が女性との 交際経験なし (13 ページ)	○生涯未婚率が高いのはなぜ？ 「雇用・労働環境が 良くないから」 「女性が働き続けられる 環境がまだ不十分」 (19 ページ)
○「妻は専業主婦が 良い」に4割の支持 ○6割以上は「子ども が小さいうちは、妻は 育児に専念すべき」 (20 ページ)	○40 代では4人に1人 が離婚を意識 ○「熟年離婚」「卒婚」は 女性が高い支持 (女性5割 男性3割) (21 ページ)	○男性が 10 歳以上 年上の「年の差婚」に 6割が肯定的 (23 ページ)

ご照会先	㈱明治安田生活福祉研究所 生活設計研究部 横田・笹木	電 話：03(3218)4014 FAX：03(3201)7837 Eメール：ksasaki@myilw.co.jp
------	----------------------------------	--

ピックアップ

20・30代の未婚男女にはどんな特徴が

恋愛や結婚について20・30代の未婚男女はどのような意識を持っているのでしょうか。

「恋人の有無」「交際経験」「結婚したいと思っている割合」「結婚相手の条件」「婚活」に関する項目から“平均的な姿”を見てみました。

20代男性

- 恋人がいるのは5人に1人。5人に2人は交際経験がありません。
- 70%が「結婚したい」。婚活経験は2割。
- 里田まいさんを理想と考えています。

20代女性

- 恋人がいるのは5人に2人。5人に1人は交際経験がありません。
- 86%が「結婚したい」。婚活経験は4割。
- つるの剛士さんを理想と考えています。

20・30代未婚男女の特徴は あなたはあてはまる？



30代男性

- 恋人がいるのは15%。3人に1人は交際経験がありません。
- 63%が「結婚したい」。婚活経験は3割。
- 松嶋菜々子さん、上戸彩さん、菅野美穂さんを理想と考えています。

30代女性

- 恋人がいるのは3人に1人。6人に1人は交際経験がありません。
- 73%が「結婚したい」。婚活経験は56%。
- つるの剛士さんを理想と考えています。

＜ 調査の概要 ＞

(1) 調査対象： 全国の 20 歳以上 49 歳以下の男女

(2) 調査方法： WEB アンケート調査（株式会社マクロミルの登録モニター対象）

(3) 調査時期： 2014 年 3 月 21 日～3 月 24 日

(4) 回 収 数： 3,616 人

(5) サンプルの属性

（上段：人数、下段：％）

		20～24 歳		25～29 歳		30～34 歳		35～39 歳		40～44 歳		45～49 歳		計
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
未婚		103	103	155	155	155	155	155	155	52	52	52	52	1,344
		2.8	2.8	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	1.4	1.4	1.4	1.4	37.2
既 婚	子ども なし	16	88	103	103	103	103	103	103	52	52	52	52	930
		0.4	2.4	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	1.4	1.4	1.4	1.4	25.7
	子ども あり	49	55	103	103	155	155	155	155	103	103	103	103	1,342
		1.4	1.5	2.8	2.8	4.3	4.3	4.3	4.3	2.8	2.8	2.8	2.8	37.1
計		168	246	361	361	413	413	413	413	207	207	207	207	3,616
		4.6	6.8	10.0	10.0	11.4	11.4	11.4	11.4	5.7	5.7	5.7	5.7	100.0

(6) サンプル数について

この調査では、上記の各属性ごとに相当数のサンプルを収集して分析を行なうことを目的としています。そのため、当資料では人口比等による補正は行なっておりません。

< 目 次 >

【ピックアップ】 20・30代の未婚男女にはどんな特徴が……………	P. 2
○理想の結婚相手……………	P. 6
■理想の結婚相手を有名人に例えると	
○結婚相手の条件……………	P. 8
■未婚女性が結婚相手に求める最低年収	
■未婚男性の年収	
■結婚相手として重視したい条件	
○結婚に対する考え方……………	P. 10
■「結婚したい」割合	
■結婚したいと思う理由	
■結婚を決めた理由	
○20～40代の未婚男女の交際経験……………	P. 13
■交際相手の有無	
■異性との交際経験	
○20～30代の恋人・配偶者との出会い方……………	P. 15
■20・30代男性の恋人・配偶者との出会い方	
■20・30代女性の恋人・配偶者との出会い方	
○婚活……………	P. 17
■未婚男女の婚活経験	
■婚活の内容	
■婚活の効果	

○結婚に関する様々な意識…………… P. 19

■生涯未婚率が男性 20%、女性 10%の状況についてどう考えるか

■妻は専業主婦が良いか

■子どもが小さいうちは、妻は育児に専念すべきか

■我慢して暮らすより離婚したほうが良いか

○結婚して良かったか、離婚に関する意識…………… P. 21

■結婚して良かったか

■離婚を意識したことがあるか

■「熟年離婚」についてどう思うか

■「卒婚」についてどう思うか

○「年の差婚」に対する意識…………… P. 23

■年齢が 10 歳以上離れた「年の差婚」についてどう思うか

■年の差婚を「良い」「まあ良い」と思う理由

■年の差婚を「あまり良くない」「良くない」と思うのは

理想の結婚相手 有名人では？

女性のトップは 里田まいさん 男性のトップは つるの剛士さん

■ 理想の結婚相手を有名人に例えると

◇20～40 代回答者の総合ランキング トップは、里田まいさん、つるの剛士さん

- ・理想の配偶者を有名人に例えると誰か訊いてみました（図表1）。
- ・理想の妻は、里田まいさん、上戸彩さん、山口百恵さん、松嶋菜々子さん、石原さとみさん・堀北真希さん（同数）がトップ5です。トップの里田さんは、夫のニューヨークヤンキース田中将大投手への献身的なサポートに好感を持たれているようです。
- ・理想の夫は、つるの剛士さん、仲村トオルさん、杉浦太陽さん、所ジョージさん、堺雅人さんがトップ5でした。つるのさんは、4人の子どもを持つイクメンぶりが有名ですね。

◇30代では、松嶋菜々子さん・上戸彩さん・菅野美穂さん、つるの剛士さん

40代では、山口百恵さん、三浦友和さん・仲村トオルさん

- ・回答者の年代別に見ると、20代のトップは、総合ランキングと同様に里田まいさん、つるの剛士さんです。30代のトップは、松嶋菜々子さん・上戸彩さん・菅野美穂さん（同数）、つるの剛士さん、40代のトップは、山口百恵さん、三浦友和さん・仲村トオルさん（同数）でした。
- ・なお、30代では、江口洋介さん、土田晃之さん、40代では菊池桃子さん、高橋英樹さんも上位にランクインしています。

図表1 理想の配偶者を有名人に例えると（20～40代の未婚・既婚の男女）

<総合ランキング>（20～40代の回答者）

◆理想の妻（男性回答）

n=1,167

順位	有名人	得票数
1	里田まい	52
2	上戸彩	38
3	山口百恵	36
4	松嶋菜々子	35
5	石原さとみ 堀北真希	25
7	綾瀬はるか	24
8	新垣結衣 菅野美穂	23
10	安めぐみ	20

（敬称略）

◆理想の夫（女性回答）

n=1,349

順位	有名人	得票数
1	つるの剛士	106
2	仲村トオル	38
3	杉浦太陽	36
4	所ジョージ	35
5	堺雅人	32
6	関根勤 佐々木健介	30
8	福山雅治	28
9	向井理 江口洋介	27

（敬称略）

<20代の回答者>

◆理想の妻（男性回答） n=379

順位	有名人	得票数
1	里田まい	29
2	上戸彩	21
3	堀北真希	17
4	新垣結衣	14
5	松嶋菜々子	12

（敬称略）

◆理想の夫（女性回答） n=454

順位	有名人	得票数
1	つるの剛士	46
2	杉浦太陽	18
3	向井理	12
4	佐々木健介	11
5	堺雅人	10
	山口智充	

（敬称略）

<30代の回答者>

◆理想の妻（男性回答） n=514

順位	有名人	得票数
1	松嶋菜々子	16
	上戸彩	
	菅野美穂	
4	里田まい	15
5	山口百恵	14

（敬称略）

◆理想の夫（女性回答） n=603

順位	有名人	得票数
1	つるの剛士	50
2	江口洋介	20
	土田晃之	
4	仲村トオル	19
5	杉浦太陽	18
	所ジョージ	18

（敬称略）

<40代の回答者>

◆理想の妻（男性回答） n=274

順位	有名人	得票数
1	山口百恵	19
2	菊池桃子	9
3	里田まい	8
4	松嶋菜々子	7
	森高千里	7

（敬称略）

◆理想の夫（女性回答） n=291

順位	有名人	得票数
1	三浦友和	12
	仲村トオル	
3	高橋英樹	11
4	つるの剛士	10
	所ジョージ	
	福山雅治	

（敬称略）

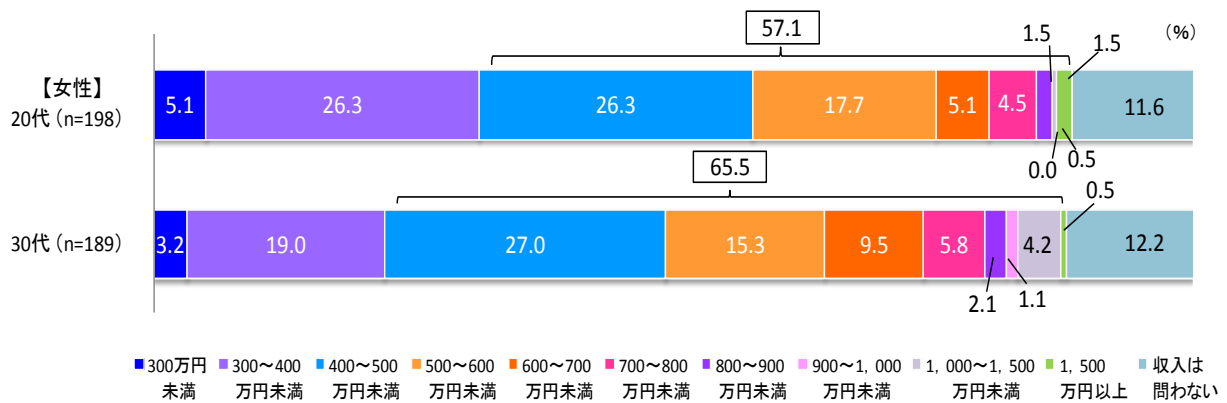
未婚女性が結婚相手に求める年収と男性年収に開き

■ 未婚女性が結婚相手に求める最低年収

◇30代未婚女性の65.5%が結婚相手に年収400万円以上を求める

- ・未婚女性が結婚相手に求める最低年収について訊ねました（図表2）。希望年収を「400万円以上」としているのは、20代で57.1%、30代では65.5%となっています。学生も含まれている20代と異なり、自分自身で生計を立てている人が大半の30代になると、相手に求める年収のハードルも上がるのかもしれません。

図表2 未婚女性が結婚相手に希望する最低年収（「できるだけ早く結婚したい」「いずれ結婚したい」と回答した20・30代の未婚女性）

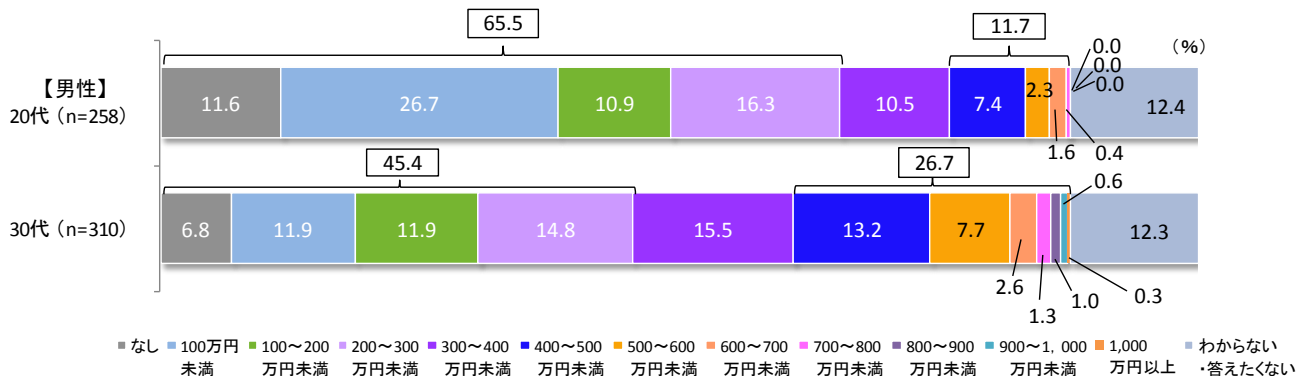


■ 未婚男性の年収

◇30代未婚男性で年収400万円以上は26.7%

- ・女性が結婚相手に希望する年収水準に対して、男性の年収の実態はどのようなのでしょうか。
- ・未婚男性に年収を訊ねたところ、「400万円以上」は、20代で11.7%、30代で26.7%にとどまり、一方、「300万円未満」の割合が、20代で65.5%、30代で45.4%にもものぼります。女性が結婚相手に求める年収と、実際の男性の年収とはかなり開きがあるという厳しい現実が見えてきます（図表3）。

図表3 未婚男性の年収（20・30代の未婚男性）



女性が考える「結婚相手の条件」はシビア？

女性の3人に2人は「相手の経済力」「相手の親と同居しなくてよい」を求める

■ 結婚相手として重視したい条件

◇男性は「優しさ」「価値観が合う」「浮気をしない」「趣味が合う」「出産に前向き」を求め

女性は「価値観が合う」「優しさ」「行動力・決断力」「浮気をしない」「年収・経済力」を重視

・20・30代の未婚男女に結婚相手の条件について訊ねました。

・15項目の条件について「あてはまる」「ややあてはまる」と回答があった割合で見ると、男性が重視する上位は、「優しさ」「価値観が合う」「浮気をしない」「趣味が合う」「子どもを産むことに前向き」で、女性の上位は、「価値観が合う」「優しさ」「行動力・決断力がある」「浮気をしない」「相手の年収・経済力」でした（図表4）。

◇女性が結婚相手に求めるハードルは多い？

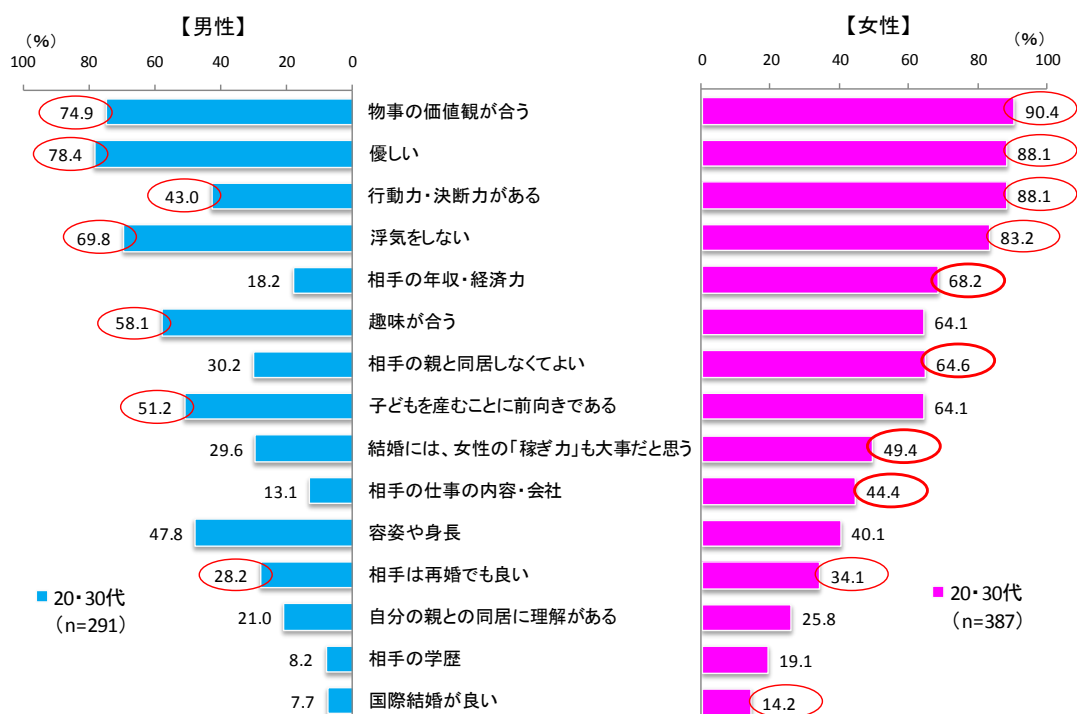
・「容姿や身長」を除く14項目で女性の割合が男性を上回り、また、女性は8項目で60%を超えているのに対し、男性では3項目のみが60%超でした。女性のほうが相手に求めるハードルが多いようです。さらに、「相手の年収・経済力」「相手の仕事の内容・会社」「相手の親と同居しなくてよい」などの項目では30ポイント以上女性が上回るなど、女性は結婚生活をしっかり考えて結婚相手の条件をシビアに捉えている様子がうかがえます。

◇半数の女性が「結婚には女性の稼ぎ力も大事」と考えている

・「結婚には、女性の『稼ぎ力』も大事だと思う」の割合は男性より女性の方がかなり高く、決して男性の経済力のみを頼りとせず、結婚後も自分の仕事の継続を考えている様子もうかがえます。

・また、男女ともほぼ3人に1人は「再婚でも良い」と考えており、女性では7人に1人は「国際結婚が良い」と考えています。面白い点としては、男性の43%が行動力・決断力がある女性が良いと回答しており、自立した女性を求める若い男性も多いことがわかりました。

図表4 結婚相手の条件について「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合（20・30代未婚者）



20 代の男性の 70%、女性の 86%が「結婚したい」

■ 「結婚したい」割合

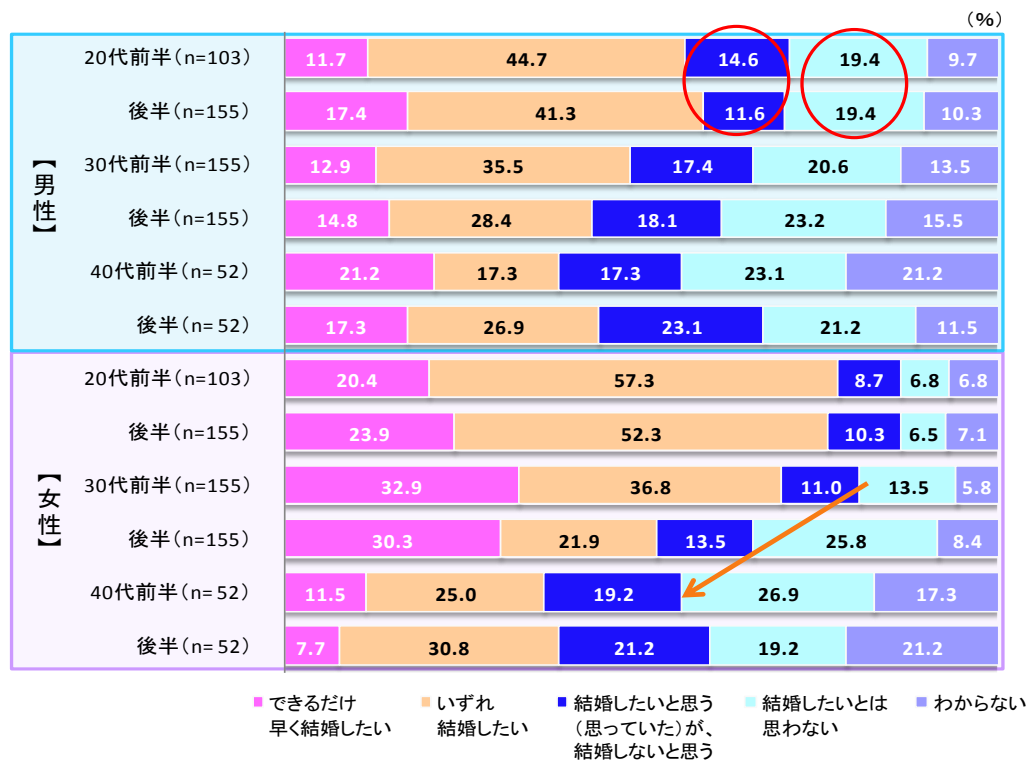
◇20・30 代 — 「結婚したい」割合は、女性が男性を大きく上回る

- ・結婚願望がある人（「できるだけ早く結婚したい」＋「いずれ結婚したい」＋「結婚したいと思うが、結婚しないと思う」）は、20 代では男性 70.5%、女性 86.4%、30 代では男性 63.5%、女性 73.2%と、いずれも女性が大きく上回っています（図表 5）。

◇年齢とともに「結婚したい」割合が低下

- ・年齢が上がるにつれ結婚したいという割合は低下しています。特に女性の 30 代後半や 40 代前半で大きく低下しています。この年代になると、家事・育児にとらわれずキャリアアップを目指したり、自由な「おひとりさま」スタイルを志向する女性も多くなってくることも理由のひとつと言えるでしょう。
- ・なお、20 代男性で、「結婚したいとは思わない」が 2 割弱であるのに加え、「結婚したいと思うが、結婚しないと思う」という人も約 13%もいる点は気になるところです。

図表 5 未婚者の結婚に対する今の気持ち



<結婚願望> (できるだけ早く結婚したい＋いずれ結婚したい＋結婚したいと思うが、結婚しないと思う)

	未婚男性	未婚女性
20 代	70.5%	86.4%
30 代	63.5%	73.2%
40 代	61.5%	57.7%

結婚の動機 好きな人・子どもとの家庭生活を思い描く 年齢とともに「親を安心させたい」や「老後の安心」も

■ 結婚したいと思う理由（未婚者）

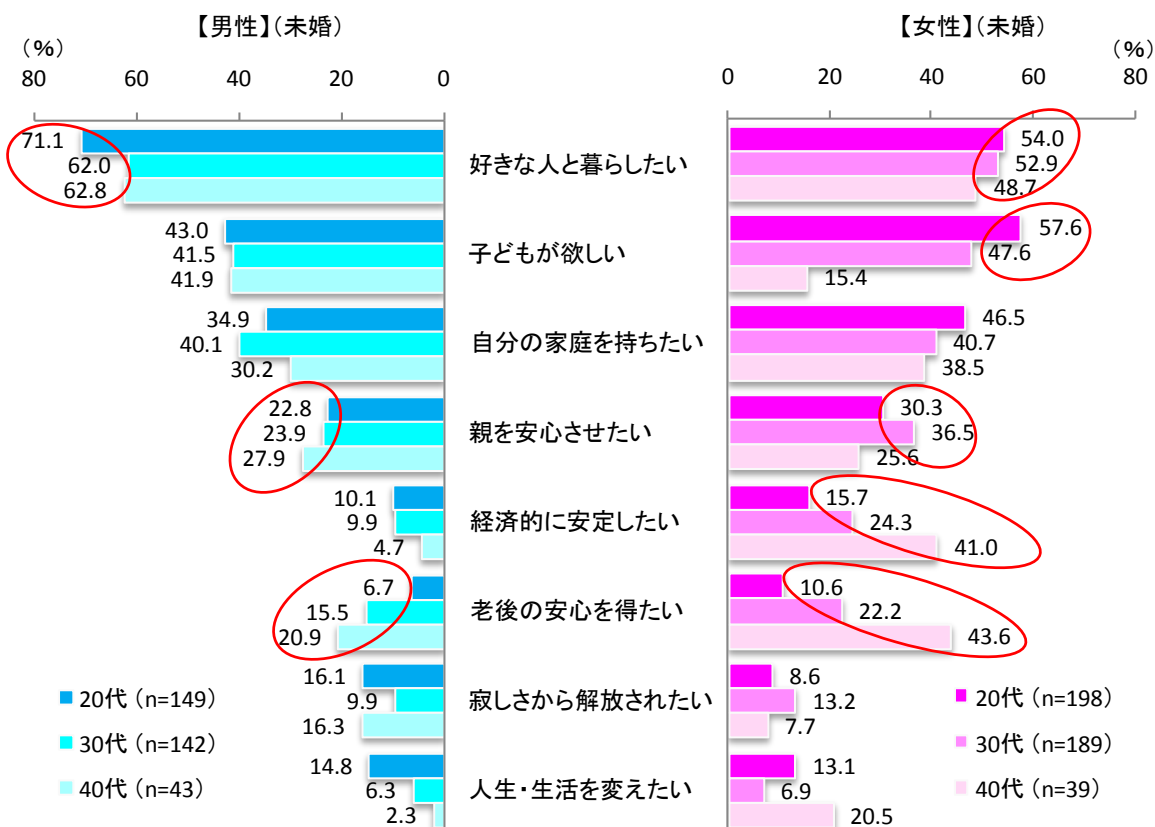
◇「好きな人と暮らしたい」「子どもが欲しい」「自分の家庭を持ちたい」

・未婚者が結婚したいと思う理由（複数回答）は、男性では20代・30代・40代とも「好きな人と暮らしたい」、女性では、20代は「子どもが欲しい」、30・40代は「好きな人と暮らしたい」がトップです（図表6）。やはり、結婚の動機としては、好きな人や子どもとの家庭生活を一番に思い描くのでしょう。

◇年齢とともに「親を安心させたい」「経済的な安定」「老後の安心」が増加

・年代が高いほど、「親を安心させたい」や「老後の安心を得たい」の割合が男女とも高まる傾向にあり、さらに女性では「経済的に安定したい」が増えている点に女性の現実的な考えが垣間見られます。

図表6 結婚したいと思う理由（「できるだけ早く結婚したい」「いずれ結婚したい」と回答した人。3つ以内）



■ 結婚を決めた理由（既婚者）

◇「好きな相手と一緒にになりたい」6割、「子どもが欲しい・子どもができた」3割

・では、既婚者が結婚を決断した理由（複数回答）はどのようなのでしょうか。（図表7）。

「好きな相手と一緒にになりたいと思った」が男女とも約6割で断トツです。次いで、「子どもが欲しいと思った、子どもができた」が約3割の水準で続きます。この2項目は、未婚者が上位に挙げた「結婚したい理由」とも一致しており、相手や子どもへの愛情が基本であることがうかがえます。

◇「仕事や収入がある程度の水準になったから」はわずか7% — 案ずるより産むが易し

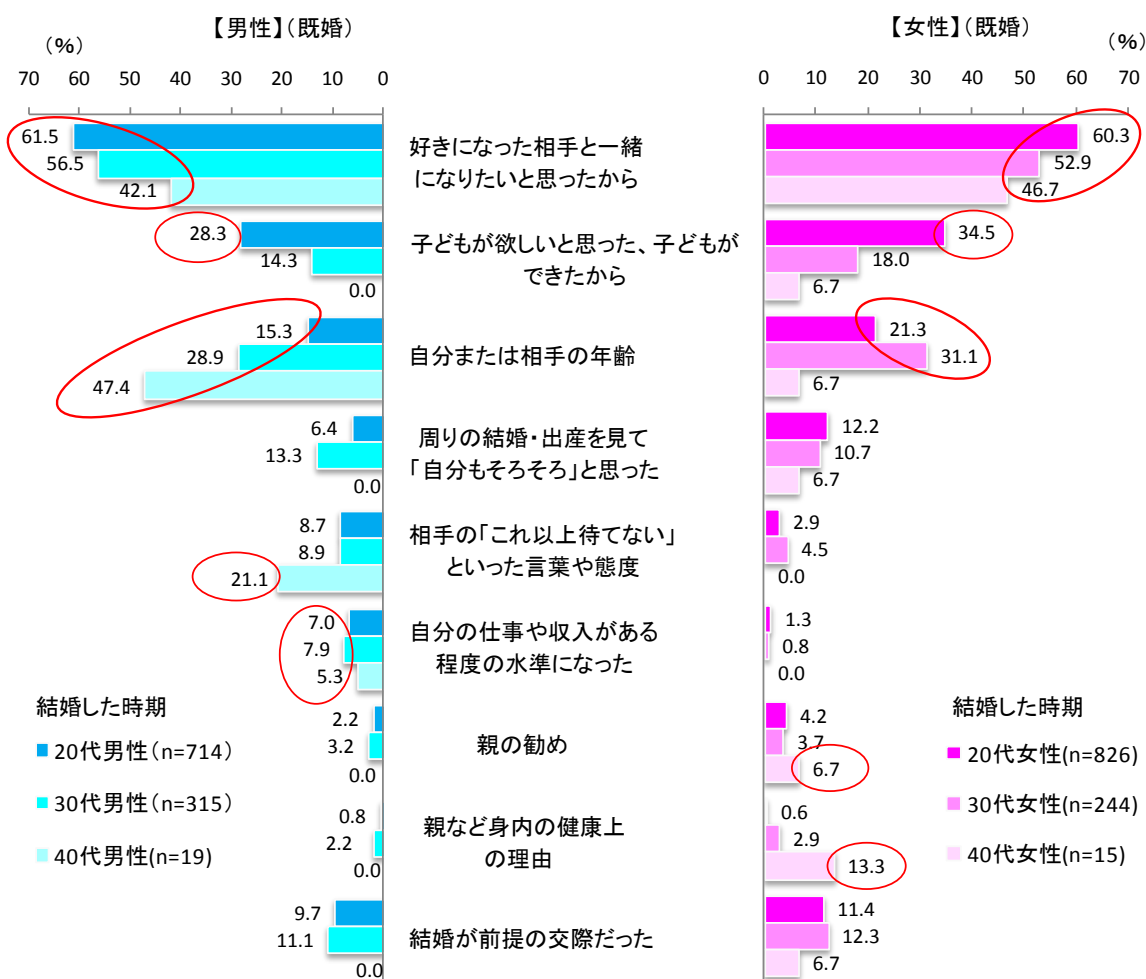
・一方、「自分の仕事や収入がある程度の水準になった」は、男性で7%程度でした。

“結婚相手に求める条件”としては、「年収・経済力」は女性から高い支持がありました。が、男性から見て「収入」が結婚を決断するキッカケになったというケースはそれほど多くありません。生活力（収入面）に関しては“案ずるより産むが易し”とも言えそうです。

◇30・40代では「自分や相手の年齢」「相手の『これ以上待てない』といった言葉」

・結婚した年齢別で見ると、20代では「子どもができたから」が30・40代より高く、「自分や相手の年齢」「相手の『これ以上待てない』といった言葉」「親など身内の健康上の理由」は30・40代が相対的に高くなっています。

図表7 結婚を決断したキッカケ（結婚した時期の年齢階層別）



恋人がいる 20 代 — 男性が 2 割、女性が 4 割 20 代未婚男性の 4 割が女性との交際経験なし

■ 交際相手の有無

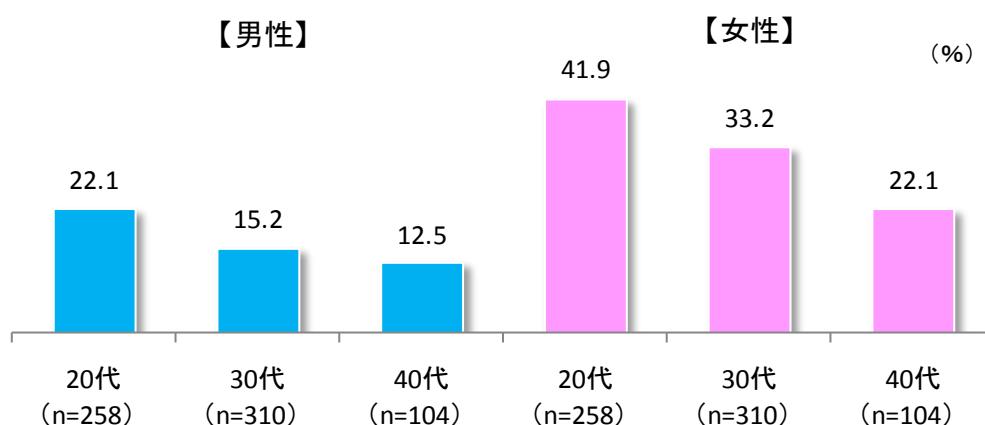
◇恋人がいる 20 代 — 男性 22.1%、女性 41.9%

- ・未婚男女に「現在の交際相手の有無」について訊ねたところ、恋人がいるのは 20 代男性で 5 人に 1 人（22.1%）に過ぎません。20 代女性も 5 人に 2 人（41.9%）と少数派ではありますが、男性に比べれば 2 倍近い割合で、これは 30 代でも同様です（図表 8）。

◇「アラサー」「アラフォー」世代の恋愛事情はなかなか厳しい

- ・また、30 代、40 代と年齢が上がるにつれ、男女ともに恋人のいる割合が低下しています。30・40 代で恋人がいない男女が 7～9 割という状況は注目されます。婚活などの中心世代である「アラサー」「アラフォー」世代の恋愛事情はなかなか厳しいようです。

図表 8 交際相手がいる割合（20～40 代の未婚者）



■ 異性との交際経験

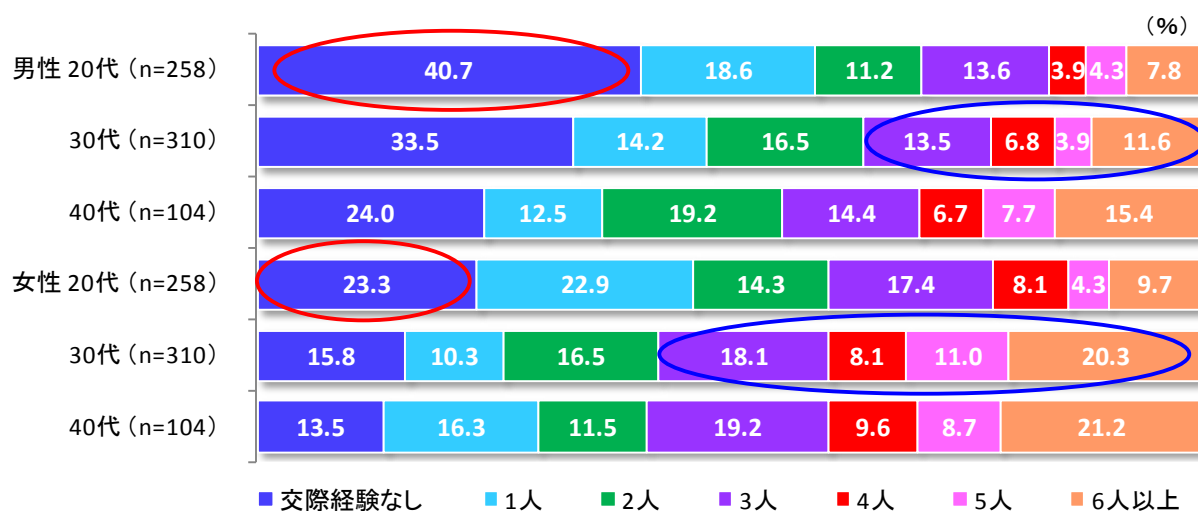
◇20 代未婚男性の 40.7%が交際経験なし

- ・未婚男性で、20 代の 40.7%、30 代の 33.5%、40 代の 24.0%が女性との交際経験がありません（図表 9）。
- ・一方、女性の場合、交際未経験者は、20 代で 23.3%、30 代で 15.8%、40 代で 13.5%と男性の約半数にとどまります。交際した人数も相対的に女性のほうが多めです。「3 人以上」と回答した割合は、30 代の男性が 35.8%に対し、30 代女性は 57.5%でした。

◇男性の交際経験が少ないのは — 恋愛行動が消極的？ 女性との会話が苦手？

- ・男性の交際経験が女性より少ないのはなぜでしょうか。
30 代の未婚の男女に、恋愛に関連がありそうな「自分の性格・タイプ」に関する項目について訊いたところ、「恋愛に関しては積極的に行動するほうだ」「異性との出会いの場に積極的に足を向けているほうだ」「社交的なタイプだと思う」の項目は、いずれも女性より男性が低く、また、「異性と話をするのが苦手」は女性より男性が高いといったことから、恋愛に慎重・消極的な男性が多いことがうかがわれます（図表 10）。

図表 9 異性との交際経験（20～40 代の未婚者）



図表 10 自分の性格・タイプについて「あてはまる+ややあてはまる」と回答した割合 (%)

	恋愛に関しては積極的に行動するほうだ	異性との出会いの場に積極的に足を向けているほうだ	社交的なタイプだと思う	異性と話をするのが苦手
30 代未婚男性 (n=310)	9.7	7.1	14.5	35.2
30 代未婚女性 (n=310)	12.9	8.4	22.9	29.4

20・30代の恋人や配偶者との出会い方

職場結婚がトップ 30代は積極的に出会いの場へ

■ 20・30代男性の恋人・配偶者との出会い方

◇恋人との出会いは「学生時代」「友人の紹介」「職場」が上位 — 1割はSNSがキッカケ

- ・交際経験がある20・30代の未婚男性の恋人との出会いは、「学生時代（クラス・サークル等）」「友人の紹介」「同じ職場」が上位です（図表11）。20代は「学生時代」が3割強で頭ひとつ抜けていますが、30代は「同じ職場」「学生時代」「友人の紹介」が2割弱で拮抗しています。
- ・20・30代とも10%前後が「SNS（フェイスブック等）」をキッカケとしています。なお、「コンパ・合コン」「街角・旅先」が20代より30代が上回っている点が注目されます。

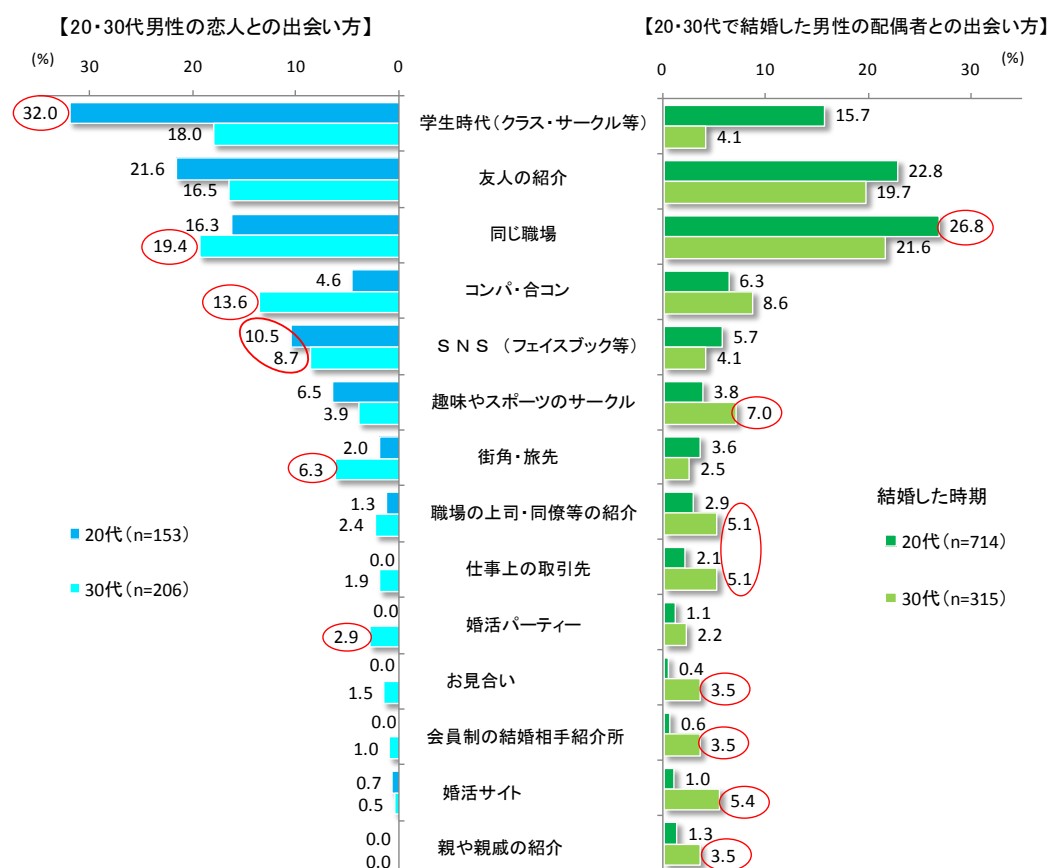
◇実際に結婚した相手は「同じ職場」がトップ

- ・一方、20・30代で結婚した既婚者の配偶者との出会いはどうでしょうか。恋人との出会いのケースほど「学生時代」は多くなく、相対的に「同じ職場」が多い傾向です。また、「職場の上司・同僚等の紹介」「仕事上の取引先」「お見合い」「結婚相手紹介所」「親や親戚の紹介」がキッカケだったケースがそれぞれ3～5%程度ありました。

◇30代は「婚活サイト」をキッカケとした結婚が「婚活パーティー」「結婚相手紹介所」を上回る

- ・なお、30代で結婚した人の5.4%が婚活サイトをキッカケとしている点も注目されます。「SNS」も含め、インターネットを介した結婚は、今後も増加していくことが想定されます。

図表11 20・30代男性の恋人と出会い方と20・30代で結婚した男性の配偶者との出会い方



■ 20・30代女性の恋人・配偶者との出会い方

◇恋人との出会い ー男性よりも「職場」関係や「婚活パーティー」「婚活サイト」が多め

- ・20・30代の未婚女性の恋人との出会いは、男性の場合より「同じ職場」が多く、特に30代では3割弱が「同じ職場」です。また、30代では1割が「SNS」をキッカケとしています（図表12）。
- ・さらに30代では、「婚活パーティー」「婚活サイト」もそれぞれ3.4%と、前述の男性のケースよりやや多めです。
- ・女性は、「職場の上司・同僚等の紹介」「仕事上の取引先」といった仕事絡みの出会いが男性と比べ多い点も興味深いところです。

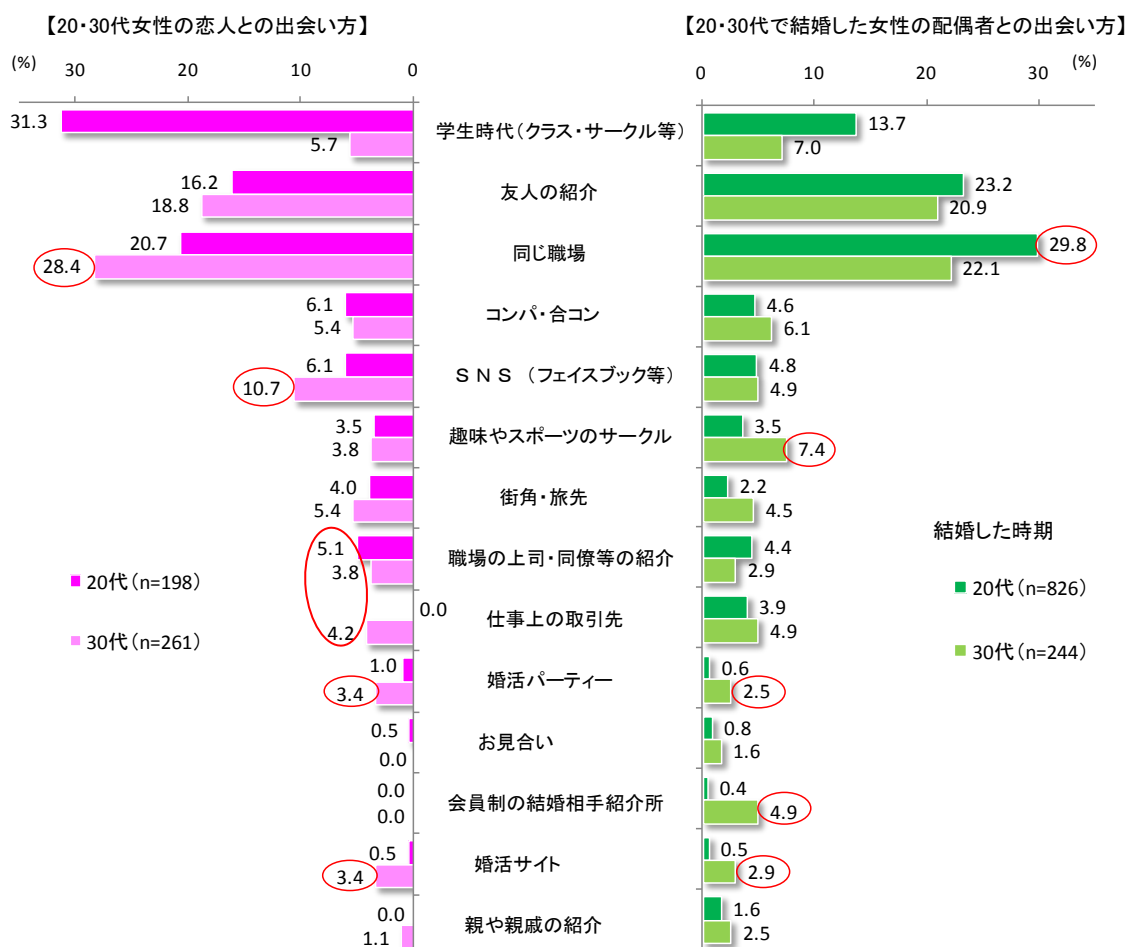
◇20代で結婚した女性は「同じ職場」が3割

- ・一方、既婚者の配偶者との出会いは、恋人のケースと同様に「同じ職場」が最多で、20代で結婚した女性の約3割を占めました。

◇30代では「趣味やスポーツのサークル」「結婚相手紹介所」「婚活サイト」も

- ・また、30代では「趣味やスポーツのサークル」「会員制の結婚相手紹介所」「婚活サイト」「婚活パーティー」などが20代より高く、「積極的に出会いを求める行動が結婚につながっている」と言えそうです。

図表12 20・30代女性の恋人と出会い方と20・30代で結婚した女性の配偶者との出会い方



どの年代も女性が「婚活」に積極的 新スタイルの婚活も 20 代を中心に浸透、4 人に 1 人が婚活で結婚

■ 未婚男女の婚活経験

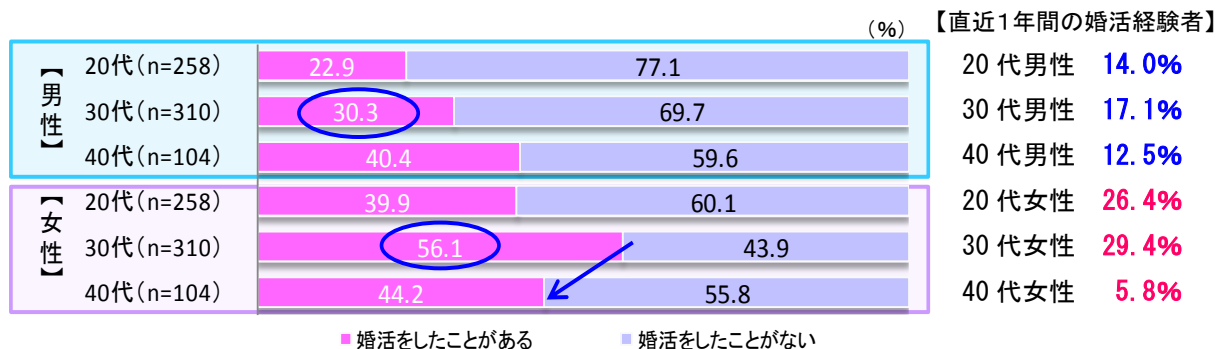
◇どの年代も女性が婚活に積極的 —30 代では男性 30%、女性 56%が「婚活経験あり」

- ・結婚のために利用したり行なったりしたこと（これを「婚活」と呼びます）があるか訊ねたところ、いずれの年代も男性より女性の婚活経験が多いという結果となりました。30 代では男性の 3 人に 1 人、女性では半数強で婚活経験がありました（図表 13）。

◇女性は 30 代が婚活のピーク

- ・男性は年齢が上がるにつれ婚活経験の割合が上昇していますが、女性は 30 代の 56.1%をピークに 40 代で低下している点が注目されます。男性の「結婚したい」割合は、30 代の 63.5%から 40 代の 61.5%へと小幅な低下ですが、女性の「結婚したい」割合は、30 代の 73.2%から 40 代の 57.7%に大きく低下（P10 参照）しているように、40 代の女性には婚活に積極的でなくなる人も多いこと（直近 1 年間の婚活経験は 30 代女性 29.4%に対し、40 代女性 5.8%）、また、30 代で積極的に婚活をしてゴールインを迎える女性も多いことなどが一因と考えられます。

図表 13 婚活経験の有無（20～40 代の未婚者）



■ 婚活の内容

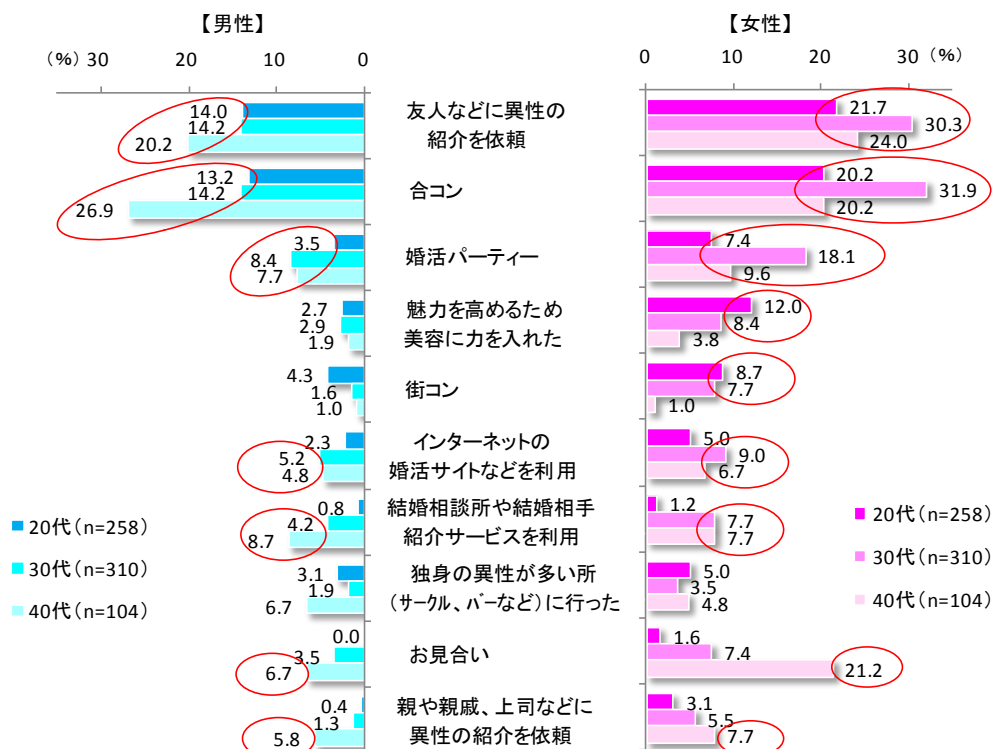
◇30 代は「婚活パーティー」「婚活サイト」などが増加。40 代女性の 5 人に 1 人がお見合いを経験

- ・婚活内容で多いものは、「友人などに異性の紹介を依頼」「合コン」「婚活パーティー」です。
- ・20 代は、友人などへの紹介依頼や合コンへの参加が中心ですが、30 代になると婚活パーティーや婚活サイト、結婚相談所・結婚相手紹介サービスなどの利用も増えます。また、40 代になると「お見合い」「親や親戚、上司などに異性の紹介を依頼」も増えてきますが、中でも 40 代女性の 5 人に 1 人以上が「お見合い」を経験しています。なお、20・30 代の女性では「街コン」に参加したケースも多いようです（図表 14）。

◇新しいスタイルの婚活も若い世代に浸透中

- ・直近 1 年間に婚活を行なった人の婚活内容を見ると、街ぐるみで開催される大規模な合コンである「街コン」や「婚活居酒屋・婚活カフェ」といった新しいスタイルの婚活も若い年代を中心に利用されています。直近 1 年間に婚活を行なった 20 代では男女ともに 6 人に 1 人が「街コン」に参加しています（図表 15）。

図表 14 経験した婚活の内容（20～40 代の未婚者。分母には婚活未経験者を含む。複数回答）



図表 15 直近 1 年間における新しいスタイルの婚活（直近 1 年間に婚活した 20～40 代の未婚者。複数回答）

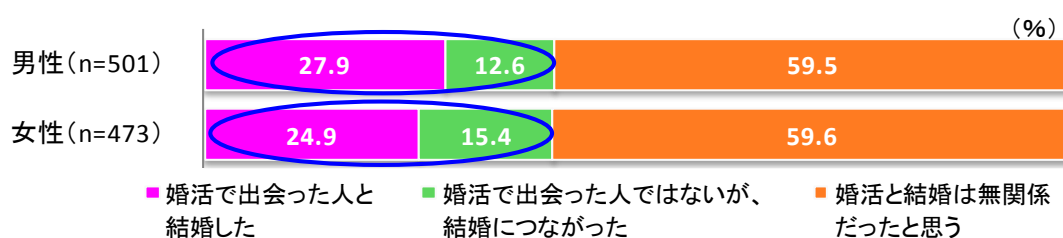
		街コン	市町村など自治体主催の婚活イベント	婚活居酒屋・婚活カフェ	アウトドア型婚活イベント（ジョギング・花見など）	旅行型婚活イベント（宿泊・ツアーなど）
男性	20代 (n=36)	16.7	5.6	2.8	0.0	0.0
	30代 (n=53)	5.7	3.8	1.9	1.9	1.9
	40代 (n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	20代 (n=68)	17.6	1.5	4.4	2.9	0.0
	30代 (n=91)	6.6	2.2	3.3	1.1	0.0
	40代 (n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 婚活の効果

◇ 4 人に 1 人が婚活で出会った人と結婚

- ・婚活経験のある既婚者の 4 人に 1 人（男性 27.9%、女性 24.9%）が、婚活で出会った人と結婚しています（図表 16）。
- ・さらに、「婚活で出会った人ではないが、結婚につながった」と回答した人も含めると、婚活経験のある 4 割の人が、婚活が実際の結婚に何らかの効果をもたらしたと考えています。

図表 16 婚活は現実の結婚につながったか（婚活経験のある 20～40 代の既婚者）



生涯未婚率が高いのはなぜ？

「雇用・労働環境（収入）が良くないから」

「結婚・出産しても女性が働き続けられる環境がまだ不十分だから」

■ 生涯未婚率が男性 20%、女性 10%の状況についてどう考えるか

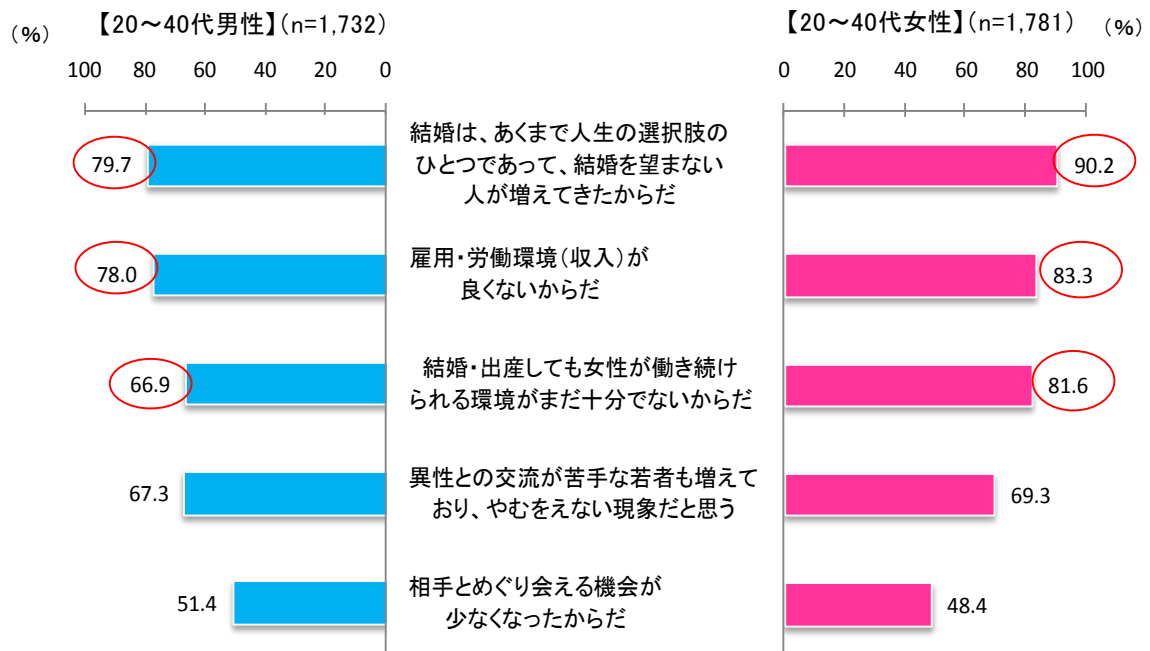
◇生涯未婚率は男性 20.1%、女性 10.6%で過去最高に

- ・平均初婚年齢が 2012 年には男性 30.8 歳、女性 29.2 歳に上昇し、生涯未婚率も男性 20.1%、女性 10.6%と過去最高となっている現状をどのように考えるかについて 20～40 代の男女に訊ねました（図表 17）。（参考：2014 年 6 月厚生労働省発表の 2013 年データでは、平均初婚年齢は男性 30.9 歳、女性 29.3 歳で、男女とも前年よりさらに 0.1 歳上昇。）

◇女性では、「結婚はあくまで人生の選択肢のひとつで、結婚を望まない人が増えてきたから」が 9 割、「雇用・労働環境（収入）が良くない」「女性が働き続けられる環境がまだ不十分」も 8 割以上

- ・「結婚は、あくまで人生の選択肢のひとつであって、結婚を望まない人が増えてきたから」に「そう思う」＋「どちらかというと思う」の回答が男性で 8 割、女性で 9 割に達しています。また、「雇用・労働環境（収入）が良くないから」、「結婚・出産しても女性が働き続けられる環境がまだ十分でないから」といった環境面の改善・整備を期待する回答も女性では 8 割以上です。なお、「女性が働き続けられる環境がまだ十分でないから」に関しては、男性の回答と約 15 ポイントの開きがあり男女間の意識の格差も見られました。

図表 17 生涯未婚率が男性 20%、女性 10%の現状に関してどう考えるか（20～40 代の未婚・既婚者合計）



「妻は専業主婦が良い」に4割の支持

「子どもが小さいうちは、妻は育児に専念すべき」も6割以上

■ 結婚に関する様々な意識

◇「妻は専業主婦が良い」に4割、「子どもが小さいうちは、妻は育児に専念すべき」に6割以上の支持

- ・結婚に関するいくつかの考え方に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答があった割合について見てみました（図表18）。
- ・“女性の子育てと仕事の両立”が叫ばれて久しい中、「妻は専業主婦が良い」に4割の支持があり、「子どもが小さいうちは、妻は育児に専念すべき」も6割以上の高い支持がある点は注目されます。
- ・また、女性の8割、男性の7割が「我慢して暮らすより離婚したほうが良い」と回答しています。

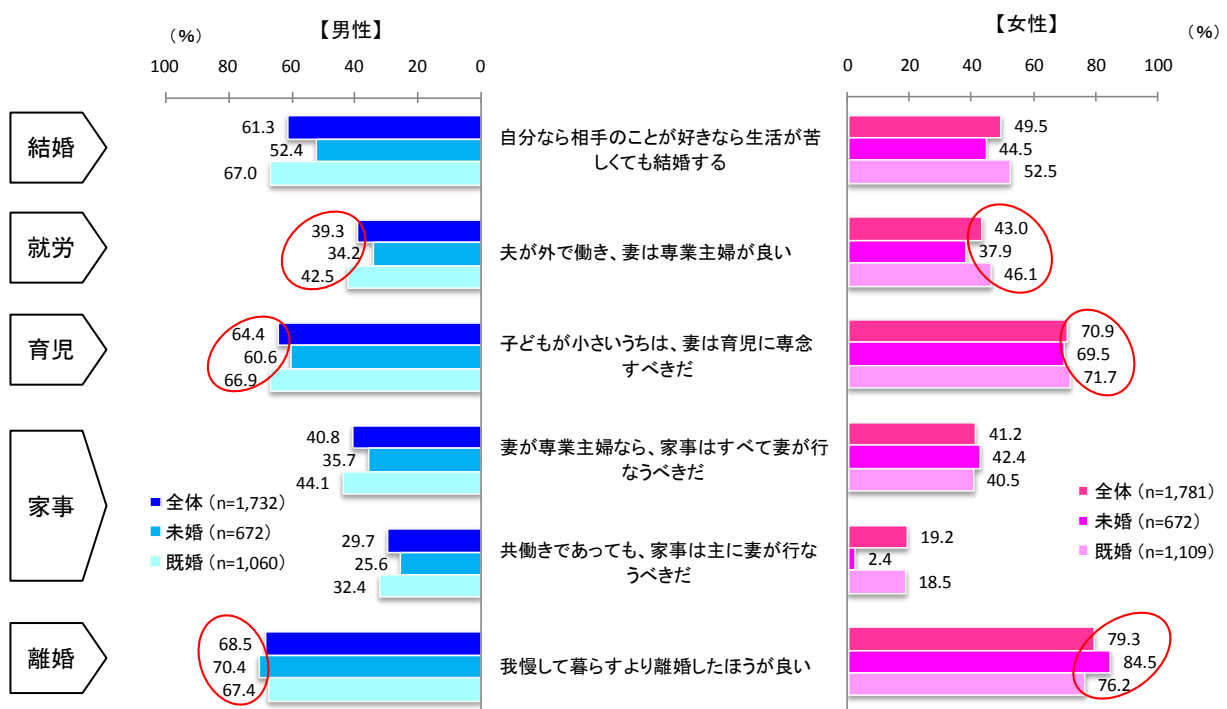
◇「我慢して暮らすより離婚したほうが良い」は女性が男性より高い支持

- ・男女間で差が大きいものとしては、「我慢して暮らすより離婚したほうが良い」は女性が10ポイント以上高く（男性68.5%、女性79.3%）、一方、「自分なら相手のことが好きなら生活が苦しくても結婚する」（男性61.3%、女性49.5%）、「共働きであっても、家事は主に妻が行なうべきだ」（男性29.7%、女性19.2%）は男性が10ポイント以上上回っています。

◇「相手のことが好きなら生活が苦しくても結婚する」「妻は専業主婦が良い」は既婚者の支持が高い

- ・未婚・既婚別で見られるものとしては、「自分なら相手のことが好きなら生活が苦しくても結婚する」「夫が外で働き、妻は専業主婦が良い」は既婚者が高く、「我慢して暮らすより離婚したほうが良い」は未婚者のほうが高い結果となっています。

図表18 結婚に関する様々な考え方（「そう思う」＋「どちらかというと思う」の割合。20～40代の未婚・既婚者）



「結婚して良かった」の実感は年齢とともにダウン

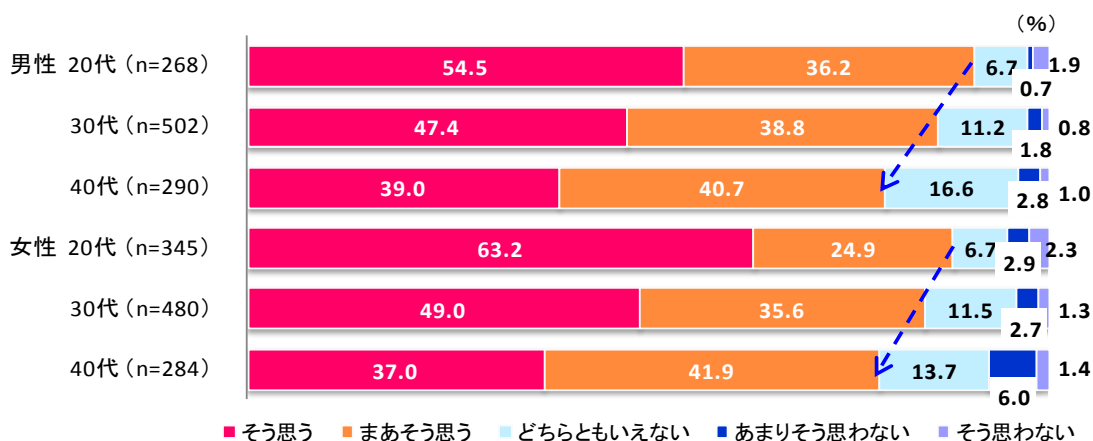
40代では4人に1人が離婚を意識 — 熟年離婚・卒婚に女性の5割が支持

■ 結婚して良かったか

◇「結婚して良かった」の実感は、20代89%から40代79%に年齢とともに低下

- ・既婚者に「結婚して良かったと思いますか」と訊ねたところ、男女ともほぼ8割以上が「そう思う」または「まあそう思う」と回答しました。年齢別では、婚姻期間が短い人が相対的に多い20代が男性90.7%、女性88.1%であるのに対し、30代は男性86.2%、女性84.6%、40代では男性79.7%、女性78.9%と年齢とともに低下しています（図表19）。結婚からの経過年数とともに結婚の良さの実感が下がるというやや残念な傾向です。

図表19 結婚して良かったと思うか（20～40代の既婚者）

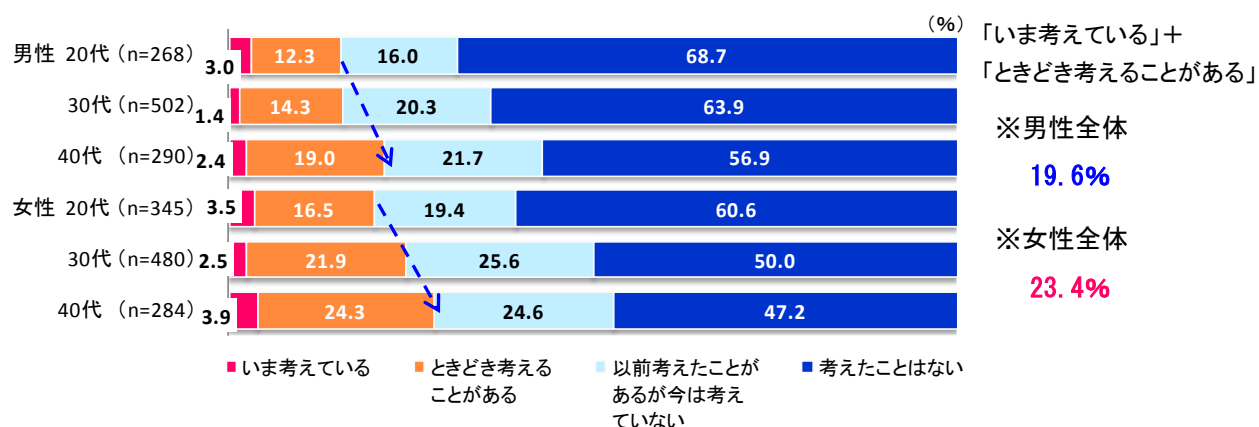


■ 離婚を意識したことがあるか

◇40代では4人に1人が離婚を意識。理由は「性格の不一致」「浪費」「家事・育児への非協力」

- ・離婚を考えているケース（いま考えている＋ときどき考えたことがある）は、男女とも年齢が高いほどその割合が増え、特に40代女性では28.2%となっています（図表20）。
- ・20～40代女性が離婚を考えている（考えたことがある）理由（複数回答）は、「性格・価値観の不一致（62.9%）」がトップで、「（相手の）金銭の浪費（22.2%）」「家事・育児に協力的でない（20.2%）」「配偶者の親・家族との関係（18.3%）」などが上位です（図表割愛）。

図表20 離婚を考えること、考えたことがあるか（20～40代の既婚者）

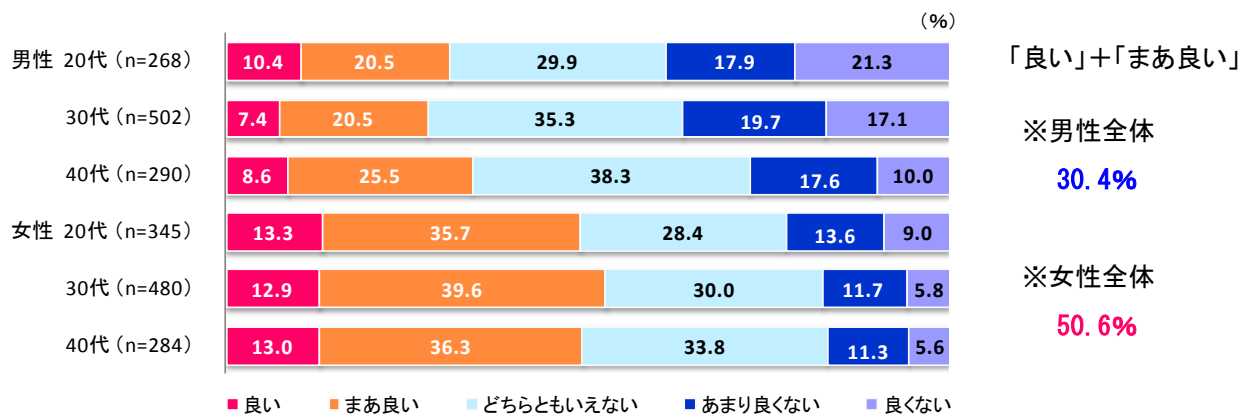


■ 「熟年離婚」についてどう思うか

◇ 「熟年離婚」に女性は 50.6% の高い支持、男性の支持は 30.4%

- ・既婚の 20～40 代男女に「熟年離婚」についての考え方を訊ねたところ、男性は 30.4% が肯定派（良い＋まあ良い）に対し、女性は 50.6% が肯定派と 20 ポイントもの開きがありました（図表 21）。実際の熟年離婚も女性から切り出すケースが多いのではないのでしょうか。
- ・なお、肯定派は年代別での違いはあまり見られませんが、否定派（あまり良くない＋良くない）については、男女とも年齢が上がるにつれ割合の低下が見られ、否定派から中間派へのシフトがあるものと考えられます。

図表 21 「熟年離婚」についてどう思うか（20～40 代の既婚者）

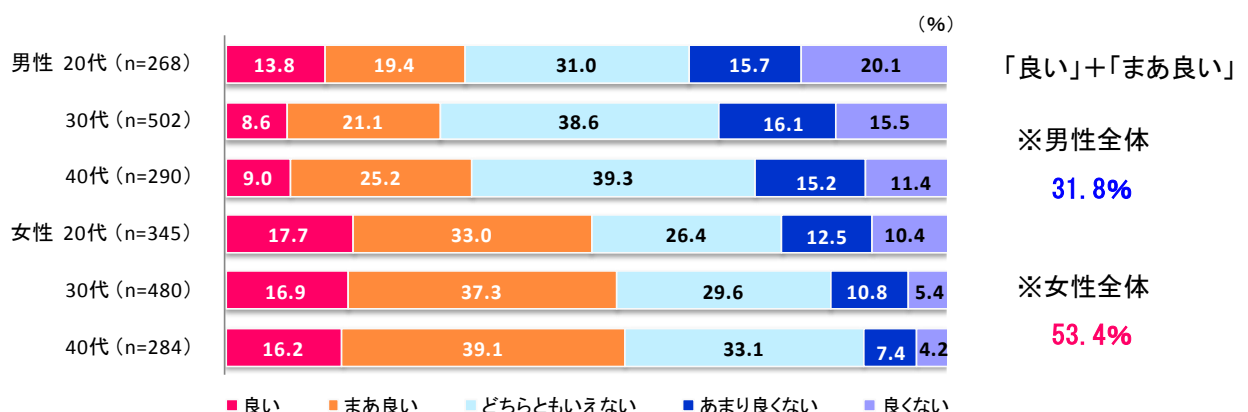


■ 「卒婚」についてどう思うか

◇ 「卒婚」も女性は 53% が支持、男性は 31.8%

- ・「卒婚」(※) についての考え方も「熟年離婚」と同じような傾向です。
既婚の 20～40 代男性の肯定派（良い＋まあ良い）は 31.8% に対し、女性では 53.4% が肯定派です（図表 22）。
- ・※卒婚とは、婚姻関係は解消せず、夫婦が互いに束縛せずに自分のライフスタイルを楽しむ関係。
- ・肯定派の割合は、男女とも年代別での違いは大きくありません。一方、否定派は、年齢が高いほど割合が低下しています。
- ・なお、「卒婚」は「熟年離婚」よりソフトなイメージがあるからだと思われそうですが、肯定派は、熟年離婚より男女とも 1～3 ポイント程度高く、否定派は 1～3 ポイント程度低い結果となっています。

図表 22 「卒婚」についてどう思うか（20～40 代の既婚者）



男性が10歳以上年上の「年の差婚」に約6割が肯定的 既婚者のほうが、「年の差婚」に肯定的

■ 年齢が10歳以上離れた「年の差婚」についてどう思うか

◇男性が年上の「年の差婚」に6割弱が肯定的。女性が年上のケースでは3割強にとどまる

- ・年齢が10歳以上離れた「年の差婚」に関する意識について訊いてみました。

「男性が10歳以上年上の結婚」については、男女とも約6割が肯定派（「良い」＋「まあ良い」）ですが、「女性が10歳以上年上の結婚」については、男女とも3割強にとどまっています（図表23）。

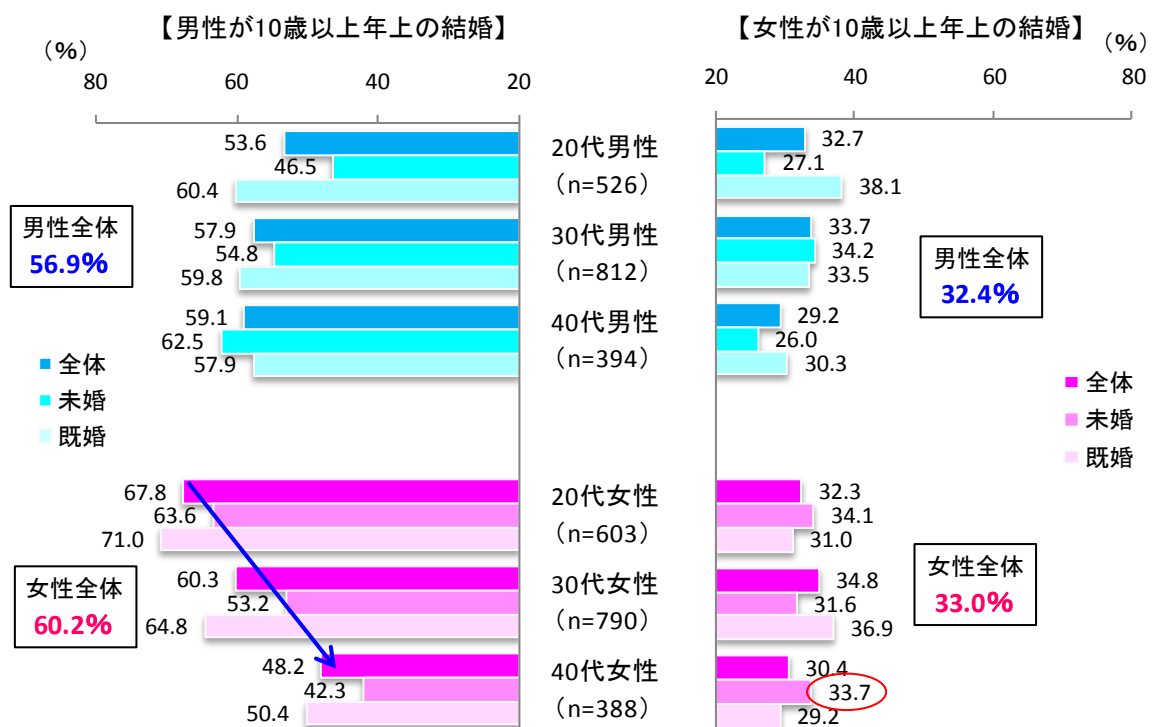
◇既婚者のほうが「年の差婚」に肯定的

- ・全体としては未婚者より既婚者で「年の差婚」肯定派が多い傾向です。これは、実際に結婚生活を経験する中で、年の差といった要素には拘らない、抵抗感が薄れるなどのケースもあるのでしょう。ただ、40代の未婚者では、自身の結婚への期待からか、男性は「男性が10歳以上年上の結婚」肯定派が既婚者の割合を上回り、女性は「女性が10歳以上年上の結婚」肯定派が既婚者をやや上回りました。

◇男性が年上の「年の差婚」肯定派 20代女性 67.8%から 40代女性 48.2%に低下

- ・「男性が10歳以上年上の結婚」に関して、女性は年齢が高くなるほど肯定派の割合が大きく低下しています（20代 67.8% → 40代 48.2%）。若い女性に肯定派が多いのは、「人生経験豊富で、頼りがいがある」と感じる人が多いことが一因と思われます。

図表23 「年の差婚」について「良い」「まあ良い」と回答した割合（20～40代の未婚・既婚者）



■ 年の差婚を「良い」「まあ良い」と思う理由

◇男性が年上：未婚者は「頼りがいがある」、既婚者は「経済的な余裕を期待できる」がトップ

- ・「男性が10歳以上年上の結婚」を良い（「良い」＋「まあ良い」）と思う理由（複数回答）について、20～40代の未婚女性では「頼りがい（頼られがい）がある」をトップに挙げていますが、既婚者は男女とも「経済的な余裕を期待できる」をトップに挙げています（図表24）。

◇女性が年上：未婚・既婚者ともに「結婚に年の差は関係ないから」が約7割

- ・一方、「女性が10歳以上年上の結婚」を良いと思う理由としては、「年の差は関係ないから」が約7割でトップですが、3割強の男性が「頼りがい（頼られがい）がある」を挙げている点は興味深いところです。しっかりした頼りがいのある女性を求める男性も多いことがうかがえます。

図表24 年の差婚を「良い」「まあ良い」と思う理由（20～40代の未婚・既婚者。複数回答）（%）

		男性			女性		
		全体	未婚	既婚	全体	未婚	既婚
男性が年上	経済的な余裕が期待できる	50.3	40.6	55.7	64.7	58.4	68.1
	頼りがい（頼られがい）がある	45.0	41.1	47.1	66.9	70.0	65.2
	結婚に年の差は関係ないから	44.9	51.0	41.4	50.0	50.9	49.5
女性が年上	経済的な余裕が期待できる	13.4	13.3	13.4	14.5	15.8	13.6
	頼りがい（頼られがい）がある	31.2	29.6	32.1	29.3	29.4	29.2
	結婚に年の差は関係ないから	66.0	69.0	64.2	75.7	77.8	74.4

■ 年の差婚を「あまり良くない」「良くない」と思うのは

◇男性が年上の「年の差婚」に13%が否定的。女性が年上のケースでは30%

- ・年の差婚に関し「あまり良くない」「良くない」と回答した人は、男性が年上のケースで13.3%、女性が年上のケースで30.4%と、17ポイントの差が見られました（図表25）。

図表25 年の差婚について「あまり良くない」「良くない」と回答した割合（20～40代の未婚・既婚者合計）（%）

	男女合計	男性回答				女性回答			
		男性計	20代	30代	40代	女性計	20代	30代	40代
男性が10歳以上年上の結婚	13.3	10.3	17.1	8.3	5.6	16.1	15.4	16.2	17.0
女性が10歳以上年上の結婚	30.4	29.1	32.5	26.6	29.7	31.3	36.7	28.4	28.9

◇男性が年上：男性は「価値観が合いにくい」、女性は「老後の不安」を強く意識

- ・年の差婚に否定的な理由（複数回答）として、男性が年上のケースでは、男性は「価値観が合いにくい」ことをトップに挙げたのに対し、女性は「早い時期に一方が老後を迎える」をトップに挙げ、「将来、介護等の不安がある」も男性の割合を大きく上回るなど、老後の不安が大きいことがうかがえます（図表26）。

◇女性が年上：男女とも「価値観が合いにくい」が「早い時期に一方が老後を迎える」をやや上回る。「周囲の目や反対」「相手の家族との問題が起こりやすい」も2～3割

- ・女性が年上のケースでは、男女ともに「価値観が合いにくい」が「早い時期に一方が老後を迎える」を3～5ポイント程度上回りました。また、「周囲の目や反対がある」「相手の家族との問題が起こりやすい」を挙げる割合が、男性が年上のケースのそれぞれ2.0倍、1.6倍となっている点が特徴的です。

図表 26 年の差婚を「あまり良くない」「良くない」と思う理由（20～40代の未婚・既婚者。複数回答）（％）

		男性			女性		
		20代	30代	40代	20代	30代	40代
男性が年上	価値観が合いにくい	58.9	65.7	59.1	54.8	53.1	51.5
	早い時期に一方が老後を迎える	37.8	43.3	54.5	59.1	59.4	63.6
	将来、介護等の不安がある	30.0	19.4	27.3	41.9	51.6	45.5
	周囲の目や反対がある	15.6	10.4	0.0	17.2	13.3	1.5
	相手の家族との問題が起こりやすい	13.3	16.4	13.6	16.1	10.9	9.1
女性が年上	価値観が合いにくい	56.1	44.9	35.0	50.2	43.8	52.7
	早い時期に一方が老後を迎える	40.4	40.3	50.4	37.1	43.3	46.4
	将来、介護等の不安がある	22.8	19.0	18.8	19.5	27.2	23.2
	周囲の目や反対がある	18.7	19.9	14.5	33.0	31.7	17.9
	相手の家族との問題が起こりやすい	12.9	18.1	12.0	24.9	26.8	23.2

【参考】アンケート調査の主なバックナンバー（明治安田生活福祉研究所）

アンケート調査		調査時期
結婚・ 出産	➤ 第7回 結婚・出産に関する調査	2013 年 2 月
	➤ 第6回 結婚・出産に関する調査	2010 年 2 月
	➤ 第5回 結婚・出産に関する調査	2009 年 3 月
生活意識 調査	➤ 男性の幸せに関する意識調査	2012 年 3 月
	➤ 女性の幸せに関する意識調査	2011 年 8 月
	➤ 大学生に関する意識調査	2010 年 6 月
	➤ 30～50 代の夫婦に関する意識調査	2009 年 3 月
	➤ 第2回若年層の就労に関する意識調査	2008 年 3 月
介護	➤ 民間介護保険に関する意識等調査	2013 年 3 月
	➤ 介護生活の実態と意識に関する調査	2012 年 6 月

※詳しくは、明治安田生活福祉研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.myilw.co.jp/life/enquete/index.html>